

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 3月

平成31年3月1日の推計人口 1,334,860人
世帯数 560,040世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成31年3月1日現在の推計人口は、1,334,860人で、前月(1,336,341)に比べ1,481人の減少となった。

市部では大村市(141)の1市で増加し、長崎市(△422)、佐世保市(△370)、諫早市(△146)、雲仙市(△84)、南島原市(△77)、五島市(△63)、対馬市(△55)、松浦市(△45)、西海市(△37)、島原市(△33)、平戸市(△27)、壱岐市(△16)の12市で減少した。

郡部において佐々町(13)の1町で増加し、時津町(△139)、長与町(△59)、川棚町(△27)、新上五島町(△19)、小値賀町(△11)、東彼杵町(△5)の6町で減少した(波佐見町は増減なし)。

自然動態は、出生数743人、死亡数1,478人で735人の減少、社会動態は、転入者数2,604人(県内転入を含む)、転出者3,350人(県内転出を含む)で、746人の減少となった。

2 世帯数

平成31年3月1日現在の世帯数は、560,040世帯で前月(560,754)に比べ714世帯の減少となった。

(注)

①異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…1月

1人あたり現金給与総額 254,464円
対前月比 51.9%減少
対前年同月比 0.8%増加

1 賃金

1月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額254,464円で、前月に比べ51.9%減少し、前年同月に比べ0.8%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は250,290円で、前月に比べ0.9%増加し、前年同月に比べ2.4%増加した。

特別給与額は4,174円で、前年同月に比べ、3,681円減少した。

2 労働時間

1月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は144.3時間で、前月に比べ4.0%減少し、前年同月に比べ0.1%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は133.1時間で前月に比べ3.9%減少し、前年同月と同水準であった。

所定外労働時間数は11.2時間で、前月に比べ6.6%減少し、前年同月に比べ1.7%減少した。

3 雇用

1月の常用労働者数は226,720人で、前月に比べ0.6%増加し、前年同月に比べ1.2%増加した。

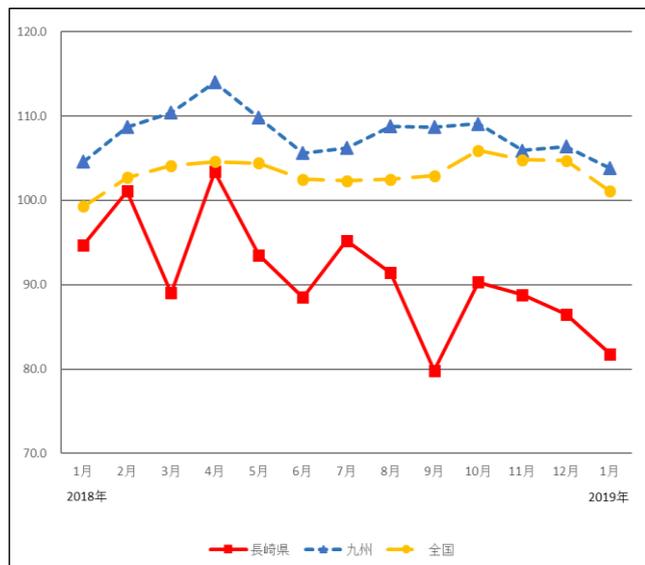
【鉱工業生産指数】……………1月

平成31年1月の鉱工業生産指数

(平成27年＝100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	81.8	△5.4	74.0	△15.7
九州	103.8	△1.7	98.8	△2.9
全国	101.1	△3.4	96.1	0.3

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



平成31年1月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が81.8で前月比は5.4%の減、原指数は74.0で、対前年同月比は15.7%の減となった。

業種別にみると、食料品工業、電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業など4業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、輸送機械工業、繊維工業など9業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
食料品工業	3.2	1.6	煮干
電子部品・デバイス工業	2.8	42.5	半導体集積回路
窯業・土石製品工業	0.5	△7.3	道路用コンクリート製品

○主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	△12.5	△79.8	タービン
輸送機械工業	△8.9	△22.7	修繕船
繊維工業	△6.5	△0.2	漁網・陸上綱

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】 …… 2月

総合指数(H27=100)	103.1
対前月比 (%)	±0.0
対前年同月比 (%)	1.6

平成31年2月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.1である。

前月と同水準で、主な上昇要因は「諸雑費」の+0.9%、「教養娯楽」の+0.6%であり、主な下落要因は「被服及び履物」の△0.9%、「食料」の△0.1%である。

前年同月比は、平成30年11月は+2.2%、12月は+1.9%、平成31年1月は+1.3%と推移した後、2月は1.6%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は102.9であり、前月と同水準、前年同月比は+1.9%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

諸雑費	0.9%
教養娯楽	0.6%
光熱・水道	0.3%

▽下落した費目

交通・通信	△0.1%
家具・家事用品	△0.4%
食料	△0.1%
被服及び履物	△0.9%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】 …… 2月

消費支出(一世帯当たり) 304,392円

前月比 26,479円減(8.0%減)

平成31年2月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は304,392円で、前月比8.0%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は76.9%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。